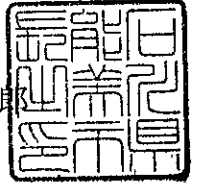


発能美土木第 662 号

平成20年10月20日

国土交通省 道路局長 様

石川県能美市長 酒 井 悌 次 郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標題の件について、
別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお取り計らいますようお願い申し
上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

石川県能美市

- ・道路整備に必要な財源の確保・拡充と地方への配分割合を高めることを要望する。
- ・直轄国道157号線は地域産業や観光振興を支え、本市の活力向上を図る上で極めて重要な道路であり、引き続き国において整備・管理することを要望する。

②-1 地域の現状と抱える課題

○ 現状

広域交流軸として重要な役割を果たす北陸自動車道、国道8号線、加賀産業開発道路の整備に比べ、金沢美川小松線の改築が福島町までとなっている。又この南北軸と比較して、市内外の連携に必要な東西軸が不足している。

生活道路の適切な整備や維持補修及び障害者・高齢者が不安なく道路や歩道を通行できるよう、又合わせて地域の魅力づくりや景観形成、自然環境へ配慮した道路整備が求められている。

○課題

- ・金沢美川小松線の福島町以北の延伸と手取川を経て白山市までのルートの確定
- ・市内の各地域を横断的に結ぶ東西方向の道路網の整備・充実
- ・市内工場が集積する北部・西部地区に直結する北陸自動車道(仮称)能美インターチェンジの設置
- ・安全で人にやさしい道路の整備・充実
- ・市民と行政の協働による効率的な維持管理体制の構築
(道路里親制度の充実)
- ・積雪時における交通円滑化対策の充実
(地下水に配慮した融雪装置の整備)

②-2 地域の目指すべき将来像

石川県能美市

・安全で利便性の高い、地域間交流ネットワーク型道路網の整備

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

石川県能美市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・バリアフリー社会の形成や総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・能美市横断道路の整備促進 (寺井湯谷線、小松インター線) ・北陸道(仮称)能美インターチェンジの設置 ・バリアフリー歩行空間ネットワークの形成 ・安全な通学路の整備(道路照明や交通監視施設の整備充実)	企業製品配送に係る輸送コストの軽減や時短を図り、生産性の向上や広域物流の拠点地域として市の活性化に寄与する。(新工業団地への造成等) 市民の利便性の向上を図り災害時の緊急避難道路として活用する(地域生活における「安心・安全」の確保)	